

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	茂原市	代表者名	田中豊彦		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0475-20-1519		
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	風戸嘉幸	連絡先E-mail	
住所	297-8511 千葉県茂原市道表1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体のDX推進、業務改革等について、さまざまな団体の事例に精通されており、示唆に富んだご助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	次回の講演会の際に、庁内職員に良い刺激を与えていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年10月27日	事前打合せ(オンライン)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	10時50分	
			活動時間（分）	50	
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	総務課総務情報係職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	人材（DX推進のための機運の醸成）、人材（DXに関する知識習得・研修・育成）、行政手続オンライン化、働き方、システム標準化・共通化	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	徹底的なデジタル化・社会全体の生産性向上、社会・文化レベルでの大変革としてのDXの実現、行政サービス改革	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	システムの導入だけでなく仕事のやり方そのものを変える、自分ごととしてDXをとらえる、他団体の視察は積極的に取り組むべき、庁内コミュニケーションの重要性、他団体の事例（書かない窓口、3つの「なくす」（電話をなくす、紙をなくす、迷子をなくす）、コンビニ交付の利用促進）	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	11月6日(月)に予定しているアドバイザーによる講演をきっかけとして、DX担当部署以外の職員が自分ごととしてDXをとらえ、業務改革の取り組みを積極的に進めることができるようにしたい。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次回のアドバイザーによる講演は、広く一般職員を対象に開催する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アドバイザーと総務情報係の担当者2名による事前打ち合わせのため、アンケートは実施しなかった	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	ビジネスチャットの有効活用による庁内コミュニケーションの活性化、簡易電子申請システムの有効活用による市民サービスの向上と業務の効率化	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

